

| | |
|--------------|--|
| 会 議 名 | 第3回生活衛生システム導入業務委託事業候補者選考委員会 |
| 開 催 日 時 | 平成31年4月23日(火) 15時から 17時まで |
| 開 催 場 所 | みなと保健所5階 会議室 |
| 委 員 | (出席者 5名) 学識経験者 小林 洋 (委員長) 港区みなと保健所長 阿部 敦子 (副委員長) 学識経験者 内田 勝也 (委員) 学識経験者 岡本 悟 (委員) 港区みなと保健所生活衛生課長 上村 隆 (委員) |
| 事 務 局 | 生活衛生課 |
| 傍 聴 者 | なし |
| 会 議 次 第 | 1 開会 2 本日のスケジュール等について 3 第二次審査(プレゼンテーション・デモンストレーション、質疑) 事業候補者1 4 事業候補者の決定について 5 今後のスケジュールについて 6 閉会 |
| 配 付 資 料 | 議 事 次 第 資料1 第2回生活衛生システム導入業務委託事業候補者選考委員会会議録(案) 資料2 第二次審査進行スケジュール 資料3 第二次選考評価項目及び採点表 資料4 第一次選考集計表 参考資料 デモンストレーション実施内容について |
| 会議の結果及び主要な発言 | |
| 委員A | 1 開会 |
| 事務局 | 2 配布資料確認、スケジュール等について ~詳細省略~ |
| 事務局 | 第2回選考委員会議事録概要について 議事録(案)の提示 |
| 委員A | 議事録(案)の修正はありませんので、正式な議事録とします。 |
| 委員A | 事業候補者のプレゼンテーション等の前に、協議したい事項はありますか。 |

| | |
|--------|--|
| 委員D | 今回の提案事業者は医務・薬事衛生について、現在港区でも導入実績があるということで問題ないでしょうか。導入している場合、今回の生活衛生システムの導入では、バージョンアップという認識で問題ないでしょうか。 |
| 事務局 | 現在導入している医務・薬事システムについては、バージョンアップになります。 |
| 委員A | 3 2次審査（プレゼンテーション・デモンストレーション、質疑） それでは、事業候補者1のプレゼンテーションをお願いします。 |
| 事業候補者1 | 事業候補者1 プレゼンテーション・デモンストレーション ～詳細省略～ |
| 委員A | 事業候補者1のプレゼンテーション等を踏まえ、各委員より質問をお願いします。 |
| 委員C | 統括責任者とプロジェクトリーダーが兼任になっていますが、どのような兼任になるのかを説明してください。 |
| 事業候補者1 | 他の1自治体の生活衛生業務に関するプロジェクトと兼務することになります。 |
| 委員C | システム障害時の対応ですが、連絡を受けてから現場で対応するまでにどれくらいの時間を要すると想定しているのでしょうか。 |
| 事業候補者1 | 都外の事務所から来ることとなりますので、1～2時間程度の時間を要すると想定しています。 |
| 委員C | 機能要件適合度回答書で、「対応不可能」と回答している項目が多数ありますが、運用で代替策を提案しているものもいくつかあると思います。どのように対応するのかをご教示いただければと思います。 |
| 事業候補者1 | 食品衛生に関する業務で「対応不可能」の項目が多数ありますが、他自治体での運用状況では、代替案を提示することで業務に支障が出ていないと認識しています。ただし、港区独自の事業等で、特定の機能がないと著しく作業効率下がってしまう場合や、運用回避方法が存在しない場合は、パッケージシステム（本体）のレベルアップ（機能の向上）で対応させていただきます。ただし、パッケージシステムのレベルアップで対応する場合、準備の段階で時間を要する可能性があります。 また、食中毒に関する業務については、港区では他自治体と比較して、専属的な業務が多数あるように感じ取れます。港区が導入を検討している生活衛生システムの機能要件をパッケージシステムに盛り込むことで、パッケージシステムのレベルアップに貢献できればと考えています。 |
| 委員C | 品質目標を設定するという記載がありますが、具体的にどのようなことを目標に掲げているのでしょうか。 |
| 事業候補者1 | はじめにプロジェクト計画書を作成してから、港区に説明し、合意の上で運用するも |

| | |
|---------|---|
| | <p>のとします。その中に、「品質意思表示」を設けます。定量的または定性的に評価できるような項目を定めます。「定量的な品質指標」については、他自治体のパッケージシステムの導入実績も踏まえ作成し、品質評価を行う基準にします。</p> |
| 委員B | <p>サブシステムにアクセス権限を設けるのでしょうか。</p> |
| 事業候補者 1 | <p>ログイン時にどのサブシステムが使えるかが決まっています。また、台帳画面を開いた際にも削除ボタンを管理者しか使えない設定にすることも可能です。</p> |
| 委員E | <p>機能要件適合度回答書で「代替方法・カスタマイズにより対応可能」と回答のあった項目については全てカスタマイズ対応した場合に、見積書の金額が変動することはないと考えてよろしいでしょうか。</p> |
| 事業候補者 1 | <p>見積書の金額は、「代替方法・カスタマイズにより対応可能」と回答のあったものについては全てカスタマイズ対応した場合でもカバーしています。</p> <p>ただし、機能要件の中に記載のない項目についてカスタマイズをすることが必要になった際に、標準パッケージに盛り込める場合と、カスタマイズのために新たな予算が必要になる場合があります。</p> |
| 委員D | <p>パッケージシステムの導入にあたり、医務・薬事衛生については現状のものをバージョンアップする程度だと認識しています。導入初期作業費の中のシステム設計・システム構築の工数が各々112（人日）、307（人日）となっていますが、この日数が必要なのは多くの項目をカスタマイズで対応することが理由なのでしょう。もし、カスタマイズの数が全く無い場合は、工数はどの程度になるのでしょうか。現状のシステムからの移行で対応するのがほとんどですが、データ移行の工数が165（人日）になっている理由も説明していただければと思います。</p> |
| 事業候補者 1 | <p>システムの帳票や集計機能はカスタマイズではなく、設定変更で対応できるものとなっています。例規集等で定まっている帳票については、特別区の中でも各々の自治体で違いが生じているのが現状です。この設定変更のために、必要な工数だと考えています。他自治体での導入時の状況も加味して、見積金額を提示しています。</p> <p>カスタマイズの数がかく無い場合の内訳を、この場で口頭による詳細な説明をするのは難しいと考えます。</p> <p>また、データ移行については、パッケージの構築ではなく、標準パッケージシステムに現行データを合わせていくという作業になります。そのため、万が一データにミスがある状態で稼働した場合、リカバリーがきわめて困難な状態になります。品質を確保するために検証の工数も含めたものを提示させていただいています。</p> |
| 委員A | <p>バックアップ・リストアーについて、アプリケーション上も何か工夫しているものがあるればご教示いただきたいと思います。</p> |
| 事業候補者 1 | <p>アプリケーション上はログを全て管理していますが、バックアップについては、ミドルウェアでSQL Serverの機能を用いてバックアップ・リストアーを行う想定です。</p> |

| | |
|--------|---|
| 委員A | <p>データベースの機能で行っていくということですね。アプリケーションで特別なことをしなくても大丈夫だということですね。</p> <p>また、機能要件適合度回答書で「対応不可能」の項目について、バージョンアップで対応する場合も、費用は見積書の金額より多くなるということは想定されるのでしょうか。</p> |
| 事業候補者1 | <p>パッケージシステムをレベルアップする場合は、費用がかかるということはありません。ただし、パッケージシステムをカスタマイズする場合は費用がかかる可能性があります。</p> |
| 委員A | <p>以上で事業候補者1のプレゼンテーション・デモンストレーション、質疑の時間を終了させていただきます。</p> <p>各委員で第二次審査の採点をお願いいたします。</p> |
| 委員A | <p>4 事業候補者の決定について</p> <p>採点にあたり、評価した項目等について意見交換を行いたいと思います。</p> |
| 委員D | <p>予算規模について、工数が少し多くかかっている項目があるという印象を受けました。その他については、対応も良く、全体的に良い印象を受けました。</p> |
| 委員C | <p>全体を通じてシステムの機能面では、プロジェクトリーダーの資質も良い印象を受けました。</p> |
| 委員E | <p>プロジェクトリーダーが豊富な知識を持っており、事業候補者1のシステムを導入することで、通常業務に問題なく対応できるという印象を受けました。画面も見やすいと思います。</p> |
| 委員B | <p>第二次審査の「2システム障害時の対応」について、事業所からみなと保健所へ駆けつける際の距離を考慮すると、緊急的な事故が発生した際に、迅速な対応が難しいという印象を受けました。全体的には問題ない構成だと考えられます。</p> |
| 委員A | <p>「2システムの障害時の対応」について、セキュリティーに関することがメインでハード面では障害が発生する頻度はごく稀であるという背景はありますが、システム上の問題について説明の中で重点を置かれていなかったという印象を受けました。</p> |
| 委員A | <p>第一次審査、第二次審査の結果を踏まえて、事業候補者1を最終的な候補者にすることが異議はないでしょうか。</p> |
| 全委員 | <p>異議なし。</p> |
| 事務局 | <p>5 今後のスケジュールについて～詳細省略～</p> |
| 委員A | <p>6 閉会</p> |

